

平成29年8月定例教育委員会会議結果報告及び会議録（要点筆記）

日 時：平成29年8月21日（月）13：30～14：40

場 所：古賀市役所 第2庁舎 402会議室

出席委員：長谷川教育長 石橋委員 小山委員 松本委員 米倉委員 大賀委員

欠席委員：なし

事務局：清水教育部長 簗原教育総務課長 木部学校教育課長兼主幹指導主事 力丸生涯学習推進課長 桐原青少年育成課長 星野文化課長 池見学校給食センター所長 伊丹指導主事 教育総務課庶務係（松尾、民谷）

傍聴者：0名

付議事項：

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 諸報告
 - (1) 教育長報告
 - (2) 教育委員情報交流
 - ・道徳の授業について
 - (3) 教育委員会報告
 - ・市議会第3回定例会について
4. 議案

番 号	件 名	議決年月日	議決結果
第40号議案	平成28年度古賀市教育委員会の点検及び評価報告書について	H29.8.21	原案可決

5. 協議事項 なし
6. その他事項
 - (1) 各課（所属）等報告
 - (2) その他
7. 閉会

会議内容：以下のとおり

1. 開会
13時30分、議長が開会を宣言。
2. 教育長あいさつ
3. 諸報告
 - (1) 教育長報告
（行事等）
 - ・九州地区市町村教育委員会連合会総会研修大会への参加ありがとうございました。キャリア教育について地元発表がありました。すばらしい発表でしたが、古賀市は中学校で5日間の市内事業所を中心とする職業体験をしています、劣らない内容だと思ったところです。

- ・先日、古賀市の海岸で痛ましい水難事故があった。学校教育課長と教育総務課長がすぐに連絡を取り合い、市内の子どもに被害はないということで報告はあがっていたが、糟屋区の父子、助けに入った福岡市の方が亡くなられた。校長会では他地域で水の事故があるたび、以前古賀の河口で古賀市内の方がなくなった事案があると伝え、児童生徒には遊びに行っても海には入らないようにという指導をしてもらっている。今後、掲示板をしっかりとつけるとか、広報をしっかりとするということが大事かと思っております。校長会でも子どもの指導についてはしっかりと指導していきたい。現時点で夏休みもあと1週間を残すところとなったが、今のところ事故の報告はあがっておりません。

(2) 教育委員情報交流

石橋議長 本日の委員情報交流のテーマは、道徳の授業についてです。道徳が教科化されるということで、教科書選定もありました。

教育長 7月に小学校の道徳の教科書採択について審議いただきました。今まで道徳は領域という考え方で年間35時間、週1時間やっている、これが教科化されます。滋賀県大津市でいじめによる自殺が出た。これが大きなきっかけです。きちんと道徳を教えて、命の大切さ、いじめはしてはいけないということを教えるということ。この道徳の教科化については、教科としてなじむのかということが、いまだに賛否両論あることは事実だが、国が教科化と決定している。我々現場に関わっている人間としては今まで通り粛々とやっていくべきもの、教科になったから改めて急に教え方が変わることはあってはならないし、これからもこれまでと同じような中身で教えていかなければならないのかなと思っている。基本はそれぞれの学校、古賀市全体がどんな子どもに育てていきたいかということがベースになると思っている。それがなければ教科書ができて、教科書を読んで、感想を書いて終わりということになる。いじめがあればいじめをしない子どもにどう育てたいか。高齢者にどうやさしく接してあげることができるか。それを解決していくどのような子どもたちを育てていきたいかということがベースにあると思っている。これがないと教科書を消化する、時間数を消化するだけのものになるのではないかなと思う。もう一つ大きく問題になっているのは評価の問題。中学校でいうと、国語や数学のように54321でつけるものではない、小学校ではよくできる、できる、もう少しと評価できるものではないので、おそらく言葉による評価になろうと思います。これも教師の多忙化が言われている中で、30名の子どもの心の内面をわずか2行や3行の中で評価をしなくてはならない。難しいと思っている。教育長会としても校長会に評価の方法や記述の方法について諮っている。私としては道徳教育を固く考えるのではなく、大津市のいじめ問題から教科化があがってきたといったように、いじめをはじめとする子どもたちの人権を考える場が中心になるのかなと思っている。福祉であるとか、命であるとか、すべて人権というひとくくりにはできると思っている。そういう面からすると、市独自のいのちのノートや新たに採用される教科書を組み合わせれば、今まで通りの道徳の授業で十分対応できると思っている。気がかりなことは評価をどうするかということ。

石橋議長 皆さん、ご意見ありますか。評価は県で統一になるのか、市町村または学校に任されるのか。

- 教育長 基本は学校です。糟屋区はある程度そろえていく予定。総合的な学習の評価のような形になるのではと思っている。国も悩んでいるところだと思う。
- 石橋議長 評価は難しいですね。心の内面を評価することになるのだから。子どもたちの倫理観、道徳心が欠如してきている状況の中で、これが打ち出されてきたと思う。私は、道徳心は地域や遊びの中から植え付けられてきたものだと思う。以前とは遊びの形態が変わってきている。一人での遊び、家の中からあまり出ていかない、社会性がなくなってくる。例えば、年上の子が小さな子に遊びの中で教えるということが少なくなってきたから、こういうことが出てきたのではないかと思う。遊びの形態も社会性を伴う遊びができなかなと思う。今、社会性を植え付けるということを考えることができる組織が学校しかないのでは。地域で人間性や社会性を植え付ける機会は少ないと思う。最後の砦が学校だと思うし、大切な役割を学校が担ってくれていると思う。道徳教育も同じ。人間性の育成にとって学校は大切な組織だと思う。
- 小山委員 まさにそう思う。地域との結びつきが少なくなっている状態。子ども会に加入している子どもも少なくなっている。学校の道徳の授業で子どもたちひとり一人が自分のこととして授業の内容をとらえて、心の動きに気付けるよう、考えられるよう、導いていただきたい。周囲の異なる意見を聞いて、相手の立場にたって考えるという機会がなかなか少ないと思う。特別にそういう授業を設けなければできない状況なのかなとは思っている。ただ、学校任せになるのではなく、幼いころからの家庭での学びが子どもの発育にとっても影響及ぼしているのだから、幼いころから道徳心を養えるよう、家庭でもいっしょに学ぶ場を持ってもらいたいと思います。
- 石橋議長 学校生活や授業の中で、人としての在り方、思いやりや人を助けるということにつながる授業をやっていただければ、道徳という特別な教科を設けなくてもできるのではないかとも思うが、今のところ道徳を打ち出していないといじめなどはなくなっていないのだろう。幼いころから気づかせていくということだと思う。
- 松本委員 道徳というと、小さい頃は家庭で、それから学校の集団生活の中で道徳心を育てるということがあると思う。人権学習も年1回はあっていると思う。今回道徳科が入るということは子どもの実態に合った内容、教材を選ばないと意味がない。そこは担任の先生がクラスの子どもの様子をしっかりと把握して、必要な道徳の授業を選んで子どもたちに投げかけるということをしないと、評価もしていけないのではないかと。評価は難しいと思う。日々の中で出てくるものなので、一時間の授業の中で良いとか、悪いとかするものではない。日々の生活の中での子どもの様子を見て、教師が子どもたちに投げかけ、子どもの心を揺さぶるような教師の力量が必要だと思う。先生たちも道徳についてしっかり学んでほしい、若い先生方も研修や学びをしておいてほしい。大事だと思います。
- 石橋議長 他の教科と違いますからね。他の教科でも子どもたちの声を出させて、考えさせる対話的な授業が増えているが、もっと深い関わりが道徳には必要。道徳は単に教科書に書いてあることを教えて、覚えたかというものではない。考え方をひきだすことが必要。
- 松本委員 学年で差もある。1年生に与えるものと高学年では違うものでなくてはならない。高学年はしっかり見つめて考えさせる内容ではなくてはならない。

石橋議長 地域性もある。地域で起こった出来事などをもとにするなどしないと、教科書に頼るだけでは実感がわかないと思う。

松本委員 地域の先人の話などは高学年にはすごくいいと思う。

大賀委員 道徳は一人ひとり受け取り方や感じ方が変わるものだろうから、授業する側の導き方は難しいだろうと感じます。クラスによって授業の差が出るようなことがないよう、保ってほしいと思います。評価についても気になりますし、ひとり一人の子が成長を自分で実感できるような、励ましになるような評価であれば、もらう側もわかりやすいだろうと思います。道徳は学校だけではなく、家庭で話したり、地域や社会で体験したことを通じて、道徳観を学んでほしいと思う。子どもたちの内面の変化に向き合って、保護者とも連携をとって研修を積んだり、先生方もより多忙になっていくのだろうとそれが気になります。

石橋議長 そうですよ。子どもたちが意欲を出してがんばろうという気持ちになるような評価になるとは思うが、道徳の評価が人権をけなすような言葉になったりすることがあってはならない。いろいろなことに気づかせたり、自分の不足しているところに気づかせたりしながら、成長に結びついていく評価にしないといけないと思う。

米倉委員 道徳は学校だけではなく、家庭や地域の中で身につけてくることだが、いろいろなことが入りこんでいることを学校で整理していくという意味で、道徳は必要だと思う。整理してあげて、こういうことも考えましようとか、こういうことを身につけましようとか。教科以外で問題が起こったときに、真剣に考えさせようとする場面で、道徳があることで考えさせることもできるし、こういうことだったんだよと、もっていくこともできるから、大事な教科だと思う。私は教科でないときにしか教えていないから、道徳的心情を育てるという趣旨でよかったが、今後は教科として評価をしないといけないということが一番の問題かなと思う。評価が文章となることは救い。子どもの意欲を引き出すような評価の仕方を身につけないといけないから、先生たちはますます多忙になるとは思うが、道徳は必要な部分だと思う。子どもたちに人権について教えられるし、子どもたちも自分のこととして考える場面になる。先生の負担にならないように研修や対応の仕方をまわりがフォローしていかなければならないかなと思う。大事な教科だけに、一方的に、簡単に走らないよう研修をして、先生たちの技量をつけるようにしてあげなければいけないと思います。

石橋議長 道徳という教科は先生の技量に関わってくる。ご苦労なさると思うが、道徳をしっかりとらえていただき、教えてもらう。評価は非常に難しいと思うが、その評価は子どもたちにとっていい方向に向かう評価にしていっていただきたいと思う。それによって学習意欲が失われたり、成長にストップがかからないように気を付けていただきたいと思います。以上で情報交流は終わります。

(3) 教育委員会報告

石橋議長 教育委員会報告をお願いします。

教育部長 市議会第3回定例会について報告させていただきます。初日は8月29日で、最終日は9月26日、一般質問は9月7日、8日、11日の予定となっています。今回の市議会定例会における教育部関連議案としましては、平成28年度の決算の認定のみです。また、第40号議案の平成28年度古賀市教育委員会の点検及び評価報告につきましても、本日議決をいただけましたら、会期中の文教厚生委員会で報告することとしております。

4. 議案

石橋議長 第40号議案、平成28年度古賀市教育委員会の点検及び評価報告書について、提案をお願いしたい。

教育総務課長 (議案朗読)

44～46ページをご覧ください。前回まで教育委員会で協議いただいた報告書を、学校教育・社会教育、それぞれの観点から、お2人の大学の先生に外部評価をしていただいたものです。議決後、市議会第3回定例会の会期中に、文教厚生委員会へ報告する予定にしております。

石橋議長 お気づきのことなどありますか。学校教育についても社会教育についても評価いただいているようです。何かご意見はありますか。なければ議決することとしたい。

《第40号議案 原案可決》

5. 協議事項 なし

6. その他事項

(1) 各課(所属)報告

ア、教育部長

- ・8月7日、台風接近の予報に伴い、学童保育、ししぶ児童センター、中学校の部活動を休止しております。4日金曜日に決定したが、台風はそれにて特段の被害はありませんでした。
- ・8月9日、子どもの貧困対策推進委員会が開催され、私と学校教育課長が参加した。今年10月アンケート実施予定。その中身について協議した。9月校長会での依頼ができるよう、福祉部門がイニシアティブをとって進めております。
- ・8月11日、古賀市の海岸で水難事故が発生しております。今後、事故が起こらないよう学校で注意を払っていきたい。
- ・9月11日から15日まで、キャリア教育のドリームステージが実施予定です。

イ、教育総務課 なし

ウ、学校教育課

- ・不登校児童生徒数ですが、1年前に比べ若干少ない状況です。夏休み明けが一番心配される場所ですので、子どもの状況をしっかり把握しながら対応できるよう、しっかり

取り組んでいきたい。

- ・教職員の研修について、福岡教育大学清水教授にお越しいただき、学力向上会議を実施しました。10月以降にも2回予定しており、しっかりと対策を図っていきたいと考えております。
- ・中体連の大会成績については別紙をご覧ください。3中学校ともしっかりと頑張っています。古賀北中学校の新体操部が県大会、沖縄の九州大会を勝ち上がり、全国大会に進むこととなりました。本日から長崎へ出発しているとのこと。
- ・市内中学校の前期後半の開始が8月29日です。

石橋議長 新聞にも出ていたが、自殺の問題、この時期夏休み明けで子どもたちの心の変化がずいぶん大きく動くところですので、学校が十分注意して変化を見つけて気を配っていかないと大きな事故につながりかねない。よろしく願いたい。

エ、生涯学習推進課

- ・福岡県県民体育大会夏季大会が北九州市立文化記念公園で行われました。水泳大会に15名の選手が出場しております。
- ・古賀を歩こう歩いてん道ウォークを実施しました。夕日鑑賞として古賀西小学校のあたりを歩き、無事終了しております。
- ・8月28日、第17回古賀市民交流ゴルフ大会を古賀ゴルフ場で行います。172名の市民が参加予定であり人気の事業となっております。

オ、文化課 なし

カ、青少年育成課

- ・8月19日に古賀市少年の船が出航し、現在沖縄本島で研修をしております。23日、帰港式が行われます。大賀委員の出席をお願いします。
- ・8月24日、古賀市青少年問題協議会を開催します。少年指導員の今後について検討したいと思っております。松本委員の出席をお願いします。
- ・8月29日、地域つながりあいさつ運動を各小学校の夏休み明け登校初日に行います。夏休み明けは子どもたちの心のブレが大きくなる時期です。お住いの地区の小学校で参加をお願いします。

キ、給食センター

- ・9月27日、教育委員給食センター見学を実施します。当日は古賀西小学校が給食センター見学を行い、生産者の方にも来ていただく予定としております。
- ・8月18日、糟屋区料理コンクールが行われました。これは給食に携わる方の料理コンクールで、古賀市からは委託業者である魚国さんから2チームが出場しました。2チームとも入選し、10月の県コンクールに1チーム出場予定です。
- ・8月29日から給食開始の予定です。

(2) その他

教育総務課長 (行事予定表の説明)

庶務係長 (10月定例教育委員会の日程調整)

石橋議長 10月定例教育委員会は10月24日13時30分とする。

7. 閉会

議長が閉会を宣言し、14時40分閉会した。